

取扱説明書	NR-824RF-EA <GRQ-241A>	7	4	1	7	5	5	5	13011
-------	------------------------	---	---	---	---	---	---	---	-------

取扱説明書

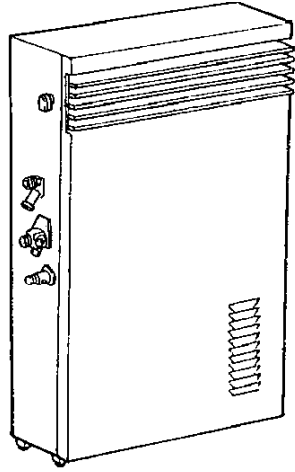
保証書付

型式名	GRQ-241A
-----	----------

NR-824RF-EA 機器コード 741 7555	風呂給湯器
--------------------------------------	--------------

このたびは風呂給湯器をお買い上げくださいましてありがとうございました。

- ご使用になる前にこの取扱説明書をお読みいただき正しくご使用ください。
- この取扱説明書の39ページが保証書になっています。内容をよくご確認のうえ、大切に保存してください。



目次

	ページ		ページ
機能と特長	1	故障かな?と思ったら	34
各部の名称とはたらき	3	アフターサービス	37
操作のしかた	8	長期間使用しない場合	37
使用上のご注意	31	仕様	38
日常点検・手入れのしかた	33	保証書	39



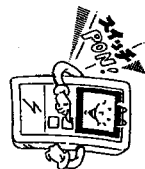
SAF8565

機能と特長

1. 給湯もふる湯かしもこれ1台でOKです。
パワフルな24号給湯器とふる釜を一体化した1台で2役の風呂給湯器です。

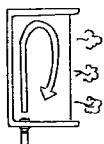
2. スイッチボタンでおふるが沸かせます。

ふたをして「自動」スイッチを押せば、あらかじめ決めておいた湯温、湯量で沸きあがります。
14ペーシをごらんください。



3. 上下の温度差がありません。

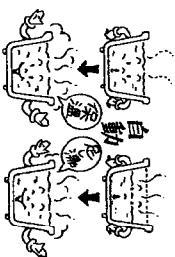
浴槽のお湯はボンプによって循環しているので均一に沸き上がり、かきまわす必要がありません。



4. 湯温と湯量のみはりは器具におまかせ。

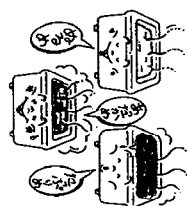
「自動」スイッチを押しておけば、4時間以内ならお湯が冷めれば自動で保温、お湯が減れば自動で足し沸します。

たとえばお子様とご主人の入浴時間があいても、湯かけんを気にせず、すぐに入浴できます。
14ペーシをごらんください。



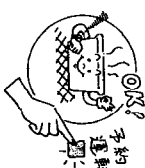
5. 気分にあわせて湯かけんを…。

ちよつと「ぬるめ」、「あったか」、「たっぷり」のおふるにしたいとき、あらかじめ決めておいた湯温、湯量を覚えずにスイッチひとつで簡単にできます。
21ペーシをごらんください。



6. お好きな時間におふるが沸かせる（または沸かし上げることができる）予約タイマーがついています。

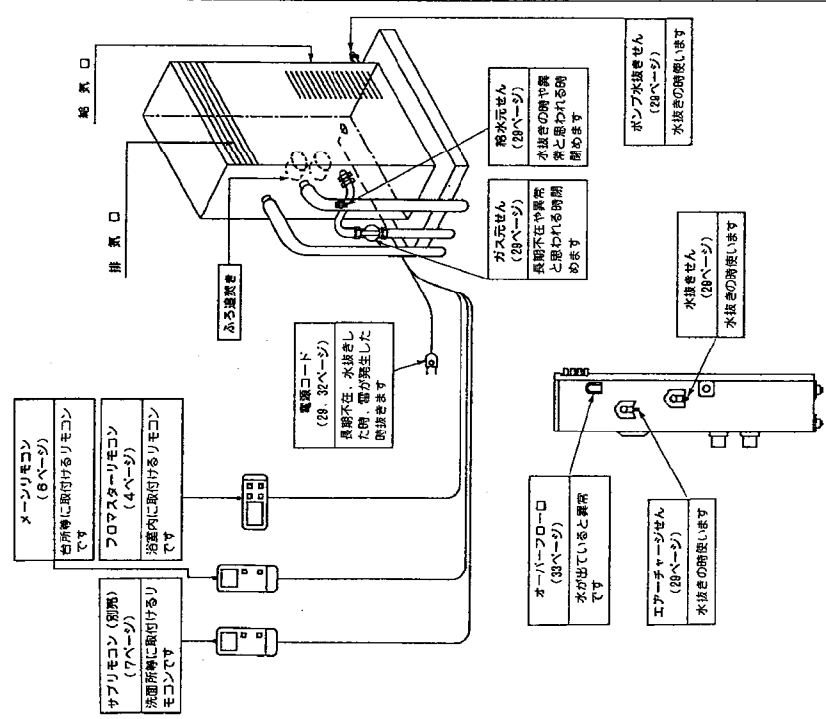
26ペーシをごらんください。



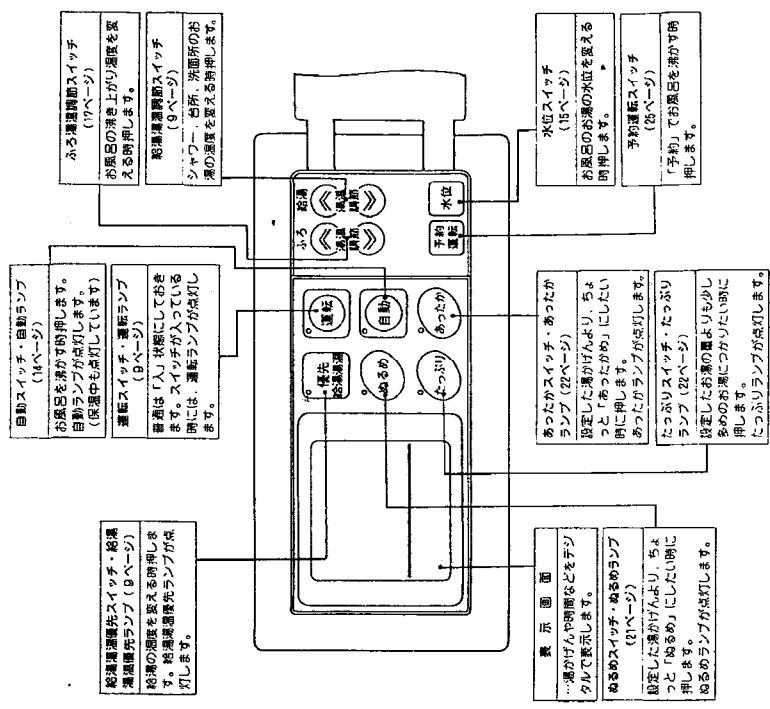
7. 厳冬期、気温が下がると自動的に作動し凍結を予防するヒーターが組み込まれています。

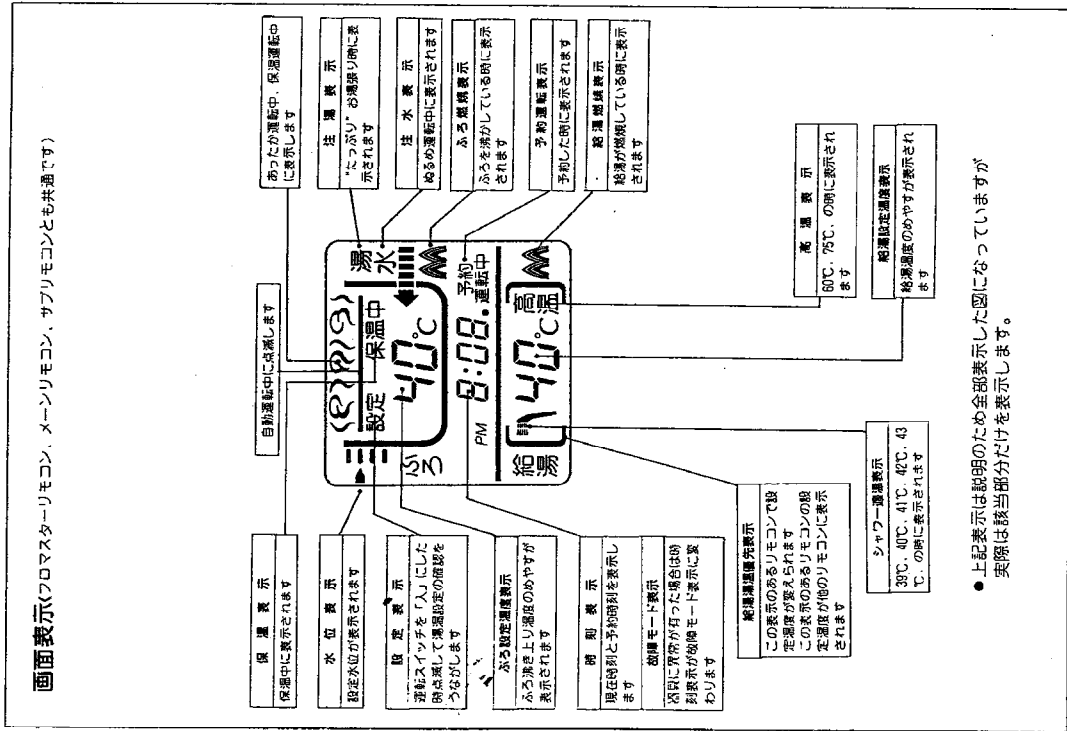
各部の名称とはたらき

機器本体

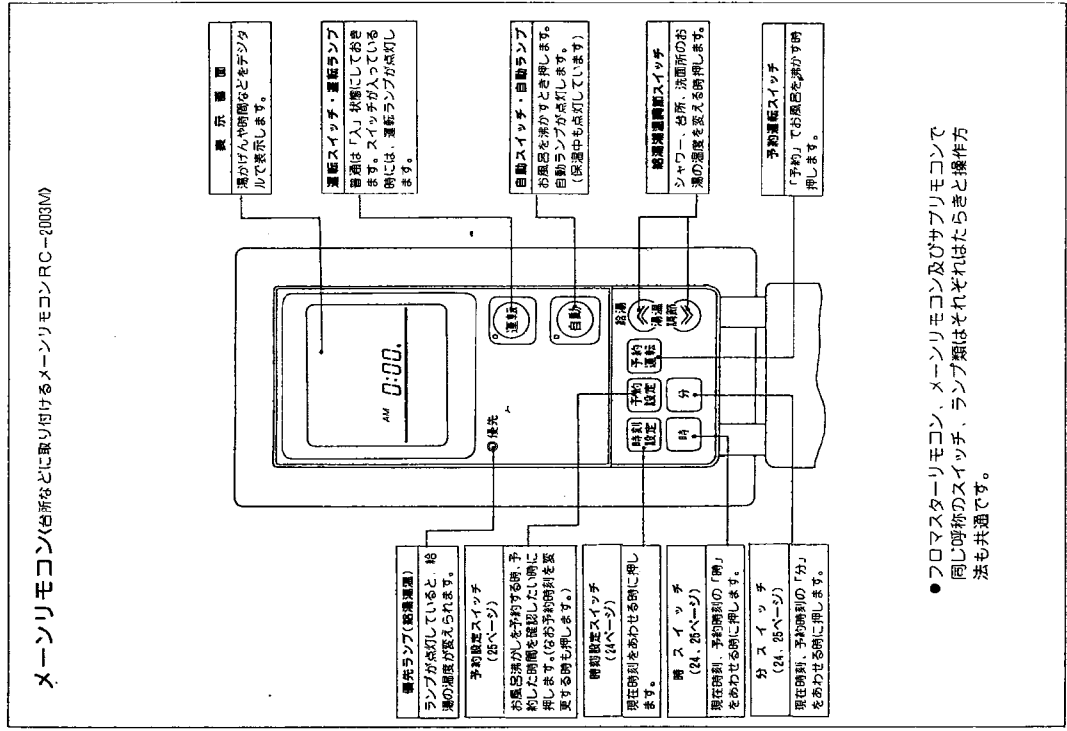


プロマスターリモコン(浴室内に取り付けるプロマスターリモコンRC-203S)

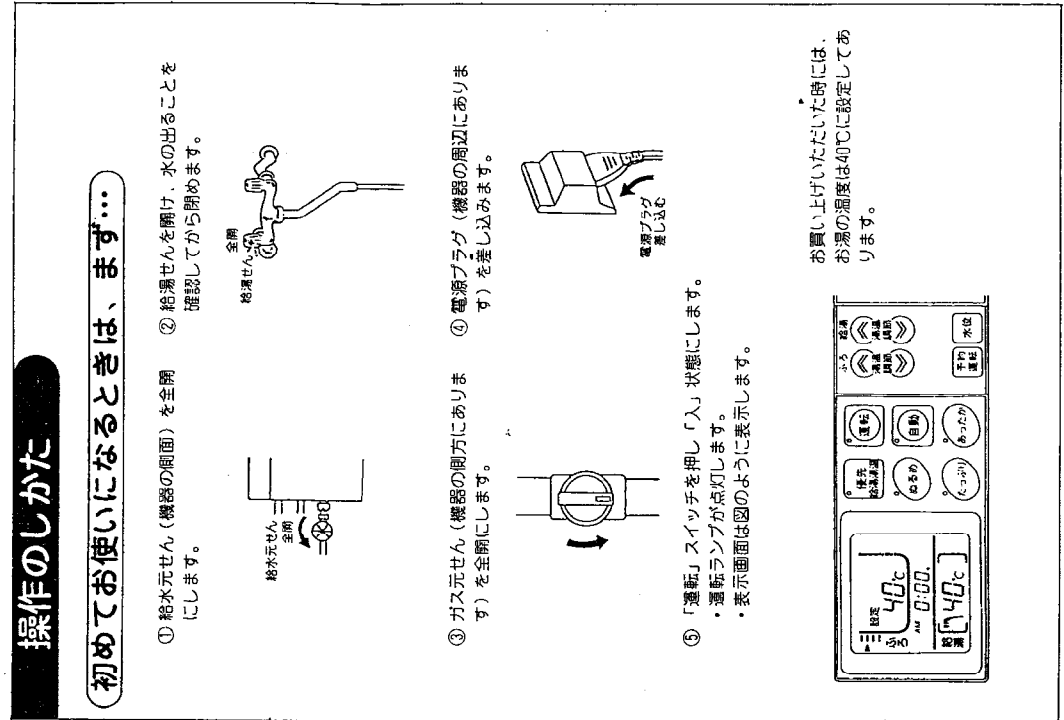
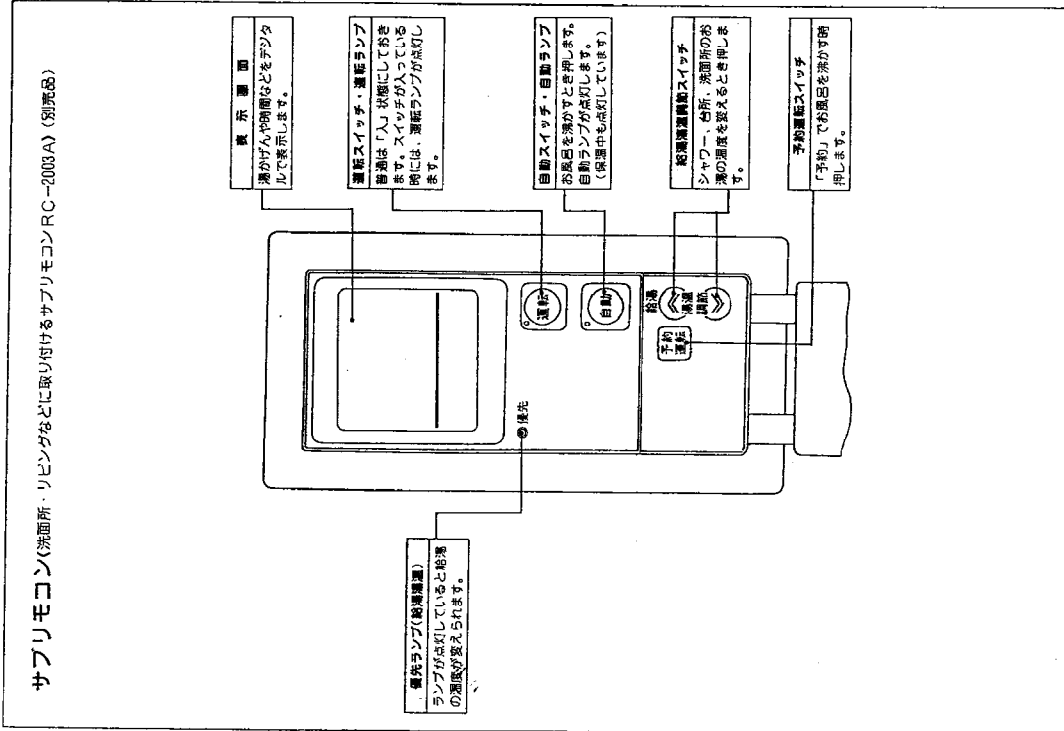




●上記表示は説明のため全部表示した図になっていますが、実際は該当部分だけを表示します。



●フロマスターリモコン、メインリモコン及びサブリモコンで同じ呼称のスイッチ、ランプ類はそれぞれはたはらきと操作方法も共通です。

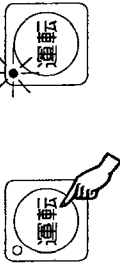


お湯をお使いのときは

■ 給湯

1. 「運転ランプ」が点灯していることを確かめます。

- 「運転ランプ」が点灯していない場合は、「運転スイッチ」を押します。
- 「運転ランプ」が点灯します。

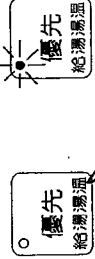


2. 給湯の温度調節をします。

フロマスターリモコン、メインリモコン、サブリモコン（別売）いずれからでも調整ができます。

《フロマスターリモコンで温度調節をする場合》

- (1) 「給湯温優先ランプ」の点灯を確かめます。
 - 「給湯温優先ランプ」が点灯していない場合は、「給湯温優先スイッチ」を押します。
 - 「給湯温優先ランプ」が点灯します。

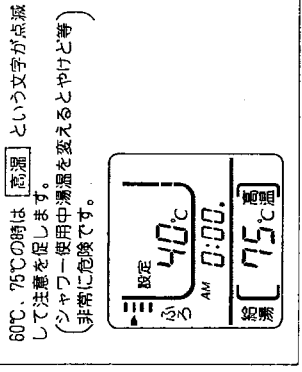


- (2) 給湯温度をお好みの温度にセットします。
 - フロマスターリモコンのふたを開け、表示面の給湯温度表示を見ながら「給湯温調節スイッチ」を押します。
 - ① を押すと高く、② を押すと低くなります。

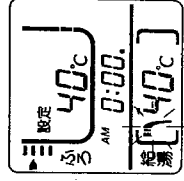
温度調節のできる範囲は38～46℃（1度押すと1℃ずつ変わります）と50、60および75℃です。

ご注意

- 表示している温度と給湯温度は配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。目安としてお使いください。



- 39℃～43℃の間の温度にセットすると、シャワー適温範囲として「M」のマークを表示します。

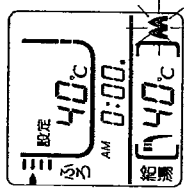


《メインリモコン、サブリモコン(別売)で温度調節をする場合》

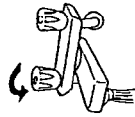
- (1) メーン（サブ）リモコンの「運転スイッチ」を押し、いったん切します。
 - 「運転ランプ」が消灯します。
- (2) 再度「運転スイッチ」を押し入れます。
 - 「運転ランプ」、「優先ランプ」が点灯します。
- (3) 給湯温度をお好みの温度にセットします。
 - メーン（サブ）リモコンのフタを開け「給湯温調節スイッチ」を押します。
 - 操作は9ページのフロマスターリモコンと同じ方法で行います。

3. 給湯せんを開けます。


- 表示面の給湯部に (M) を表示します。
- しばらくしてお湯がでます。
(お湯の出る迄の時間は配管長さにより変わります。)



給湯せんをあける



ご注意

- はじめにご使用になるときは、配管中に空気が入っていて点火しないことがあります。
このときはお湯が出ず (M) 表示も出ません。
このような場合は給湯せんを閉じ、給湯せんを開ける操作を2~3回繰り返してください。
- 出湯停止後、すぐに再出湯したときは一度、湯温が下がることがありますのでご注意ください。
- 給湯せんを絞りすぎると (約3.5ℓ/min以下) と熱いお湯が出たり、消火することがあります。

- 使いはじめは給湯配管の水を追い出す筈しばらくお湯は出ません。
(配管長さにより、お湯が出るまでの時間が異なります。)
- 給湯せんで湯量をしばらくと、水の中の空気が分離して、気ほうとなり、湯が白くなることがありますが、空気ですの心配はありません。

- 2ヶ所で同時使用されますと、ぬるくなったり、湯量が少なくなることがあります。
特に、シャワー使用中は同時使用は避けてください。

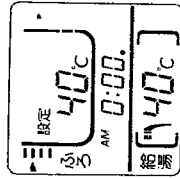


- シャワーをご使用のときは、いきなり体や頭にはかけずに、手で湯温を確認してからお使いください。
- シャワーをお使いになってお湯を止めた直後再度お使いになるときや、湯量を急に絞ったときには一瞬熱い湯が出る場合があります。
- 夏期水温が30℃近くになると、低温にセッしても湯量が少ない場合には湯温が熱くなります。
このような場合には、給湯せんをさらに開けて湯量を多く出すが、水と混合してお使いください。

■ 給湯停止

1. 給湯せんを閉めます。

- お湯が止まると表示面の給湯部の (M) が消灯します。
- 表示面は右図のように表示します。
(給湯湯温40℃セットの場合の例)



2. 「運転スイッチ」はそのまま「入」にしておきます。

- 通常「入」のまま「切」にする必要はありません。
次回お使いのとき（湯温が同じでよい場合）そのまま給湯センの開閉のみの操作ででき便利です。

ご注意

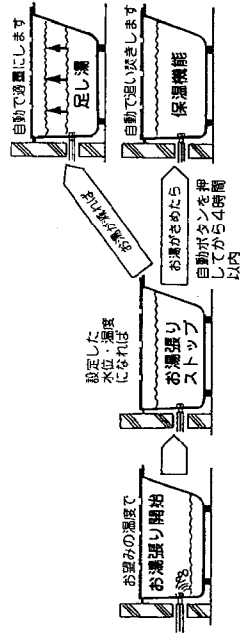
- 給湯湯温は「優先ランプ」の点灯しているリモコンでセットした温度になります。しばらくしてお使いのときはセット温度がお好みの湯温になっているか確認してからお使いください。

お風呂を沸かすときは

■ 風呂自動運転

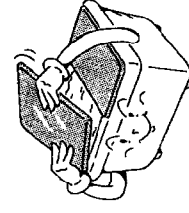
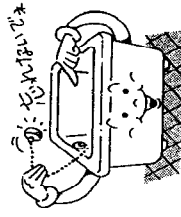
自動運転とは

自動スイッチを押すと次の動作を機器が自動で行ないます。



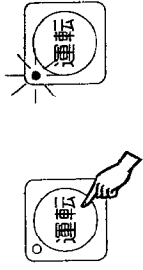
1. 運転前の準備をします。

- (1) 排水せんを閉じます。
 - お風呂を沸かす前に必ず、排水栓を閉じます。
- (2) 浴槽にふたをします。
 - この機器は浴槽にふたをしたまま、お湯張りができます。



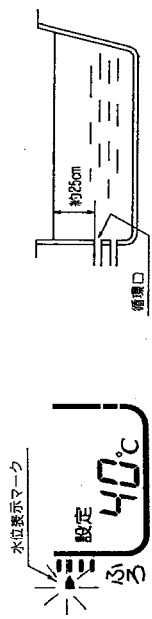
2. 「運転ランプ」が点灯していることを確かめます。

- 「運転ランプ」が点灯していない場合は、「運転スイッチ」を押します。
- 「運転ランプ」が点灯します。



3. おふろの水位をお好みの位置にセットします。

- お買い上げいただいた際には、水位表示マークが下から3番目の目盛りにセットしてあります。
- この目盛り位置にあるときの浴槽の水位は、浴槽の大きさによって若干異なりますが概90cmの浴槽のとき、循環口上部から約25cmの位置になります。



- (1) その水位がお好みの位置であればそのままにします。
- (2) 浴槽の水位を変えるときは、プロマスターリモコンのふたを開け、水位表示マークを見ながら「水位スイッチ」を押します。

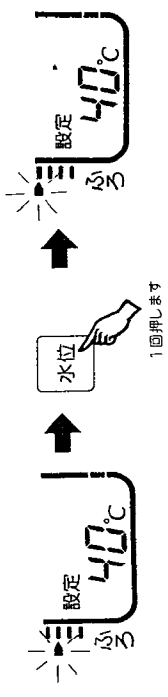
- 浴槽の水位変化は水位表示マークを1目盛り上げると水位は約5cm増量し、1目盛り下げると約5cm減量します。
- 水位表示マークの移動は、「水位スイッチ」を1回押すごとに上の目盛りに1つずつ変わり、最上目盛りのとき押すと最下目盛りに移ります。以下これを繰り返します。
- お好みの位置に移動するまで繰り返し「水位スイッチ」を押します。
- 最上目盛り以上の水位の増量、最下目盛り以下の減量はできません。

ご注意

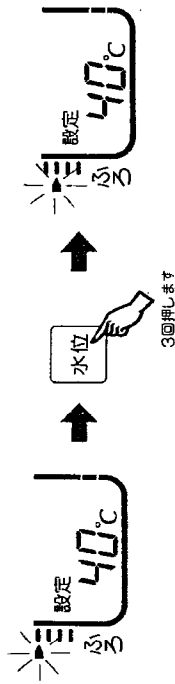
- 水位スイッチを押す前に水位表示マークの目盛り位置を覚えておくこと誤った水位設定を妨げます。
- 停電後は自動的に下から3番目の位置に戻ります。再度セットしなおしてください。
- マスターリモコン、サブリモコン（別売）では水位設定ができません。

「水位の変更例」

- ケース1. 水位表示マークが下から3番目にあつて、浴槽水位を5cm増量したいとき……「水位スイッチ」を1回押します。



ケース2. 水位表示マークが最上目盛りにあって浴槽水位を5cm減量したいとき……「水位スイッチ」を3回押します。



4. おふろの沸き上げ温度をお好みの温度にセットします。

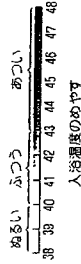
- お買い上げいただいた際には、沸き上げ温度を40°Cにセットしております。

(1) 入浴温度が40°Cで過温の方はそのままにします。



(2) 入浴温度を変えるときは、プロモスターリモコンのふたを開け、表示画面の「ふろ設定温度表示」を見ながら「ふろ湯温調節スイッチ」を押します。

- を押すと高く、 を押すと低くなります。
- 1度押すと1°Cずつ変わります。
- 温度調節の出来る範囲は38°C~48°Cです。

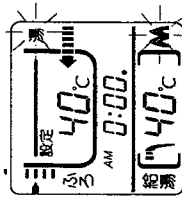


ご注意

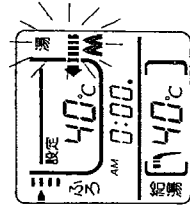
- 表示している温度と沸き上がり温度は配管長さ等により、必ずしも一致しません。目安としてお使いください。
- 停電後は自動的に40°Cに戻ります。再度セットしなおしてください。
- メーンリモコン、サブリモコン(別売)では、ふろ湯温の変更はできません。

5. 「自動スイッチ」を押します。

- (1) 「自動ランプ」が点灯し自動的ににお湯張り、沸き上げをおこないます。
- 表示画面は図のように表示します。
 - しばらくして、おふろの循環金具からお湯が出てきます。(このお湯の温度はふろ沸き上げ温度の設定温度で出ます。)

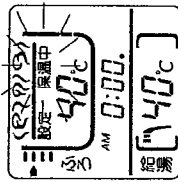


- おふろの設定水位までお湯張りし、自動的に循環金具から出ているお湯が止まり、その後おふろのお湯を循環し沸かしあげます。表示画面は図のようになります。



(2) ぶら設定温度まで沸き上がりますと自動的に保温にはいります。

- 表示画面は図のようになります。
- メンリモコンが取付いているときは、10秒間「ピーピー」と鳴り沸き上がりをお知らせします。
- これでいつでも入浴ができます。
- 「自動ランプ」は保温中点灯しています。
- 保温中は30分ごとにポンプがまわり、湯温を検知し湯温が下がっていると自動的に設定温度まで沸かし上げます。
- また湯量が設定水位より5cm以上減ると自動的に循環金具からお湯がでて、設定水位まで足し沸します。
- 保温持続時間は「自動スイッチ」を押した時から約4時間です。



ご注意

- 自動運転のお湯張り中に給湯（台所等）を使用しますとぶら設定温度のお湯がでます。
- 自動お湯張り中循環金具から出ているお湯が、出たり止まったりしますが、これはおぶらの水位を検知しているためで故障ではありません。

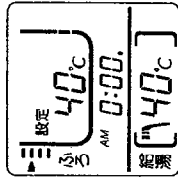
沸かし直し

- 前日までの残り湯を沸かし直したいときは、「自動運転」とまったく同じ手順を行いません。
- 設定水位より湯量が残っている場合は、設定した水位まで足し沸したうえで設定温度に沸かしあげます。

風呂自動運転停止、保温停止

1. 自動運転を途中で止めたいときは、再度「自動スイッチ」を押します。

- 「自動ランプ」が消灯し、表示画面は図のようになります。



2. 保温を途中で止めたいときも、再度「自動スイッチ」を押します。

- 表示は1とおなじです。

■「ぬるめ」、「あったか」、「たっぶり」の運転

「ぬるめ」とは

スイッチひとつでおふろへ水を10リットル注水し「ぬるめ」のおふろが楽しめます。

例、冬 (水温5℃、浴槽湯量 180ℓ、浴槽湯温43℃のとき)

浴槽湯温が約2℃さがります。

夏 (水温25℃、浴槽湯量 180ℓ、浴槽湯温43℃のとき)

浴槽湯温が約1℃さがります。

「あったか」とは

スイッチひとつでおふろ設定温度より約2℃おふろの温度を高め「ちょっとあったかめ」のおふろが楽しめます。

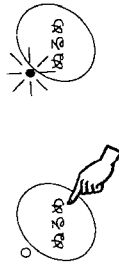
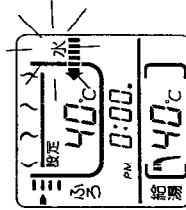
「たっぶり」とは

スイッチひとつでおふろへお湯を20リットル注湯し「たっぶりめ」のおふろが楽しめます。

●各運転とも保温中又は自動運転停止の状態のときに各スイッチを操作すると運転状態になります。
自動運転の注湯中および沸き上げ中にスイッチを操作しても運転状態には入りません。

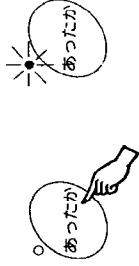
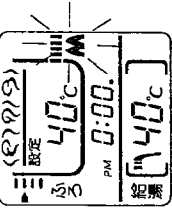
1. 「ぬるめ」運転

- 「ぬるめスイッチ」を押します。
- 「ぬるめランプ」が点灯します。
- 表示画面は図のように表示します。
- おふろに水が10リットル注水されずと自動的に止まり、ランプも消灯します。



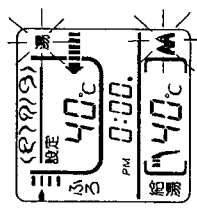
2. 「あったか」運転

- 「あったかスイッチ」を押します。
- 「あったかランプ」が点灯します。
- 表示画面は図のように表示します。
- おふろ設定温度より2℃温度を高め自動的に止まり、ランプも消灯します。



3. 「たっぶり」運転

- 「たっぶりスイッチ」を押します。
- 「たっぶりランプ」が点灯します。
- 表示画面は図のように表示します。
- おふろにお湯が20リットル給湯されずと自動的に止まり、ランプも消灯します。



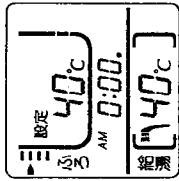
ご注意

- 各スイッチを押すまえに、おふろのお湯が入っていることを確認してください。
- 「ぬるめ」運転は給湯(シャワー等)使用中は使用できません。
- 自動運転中は「ぬるめ」運転は使用できません。
- 「保温中」の表示で機器が燃焼運転中以外であれば使用できます。
- 「ぬるめ」運転中に給湯(シャワー等)を使用しますと給湯せん(シャワー等)からは水が出ます。またその時点で「ぬるめ」運転は停止しぬるめランプは消灯します。
- 「あったか」運転、「あったか」運転終了後はおふろのかくはんのため、ポンプが約30秒間回ります。

4. 各運転の停止

「ぬるめ」、「あったか」、「たっぶり」運転とも途中で止めたいときは、再度それぞれのスイッチを押します。

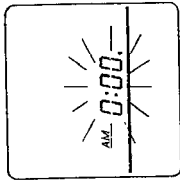
- それぞれのランプが消灯します。
- 表示画面は図のようになります。



■時計合わせのしかた

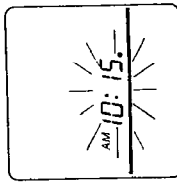
1. 「時刻設定スイッチ」を押します。

- メーンリモコンのふたを開け、「時刻設定スイッチ」を押します。
- 表示画面のAM0:00時刻表示が点滅します。



2. 現在時刻を合わせます。

- 「時」スイッチを押し、現在の時刻の「時」を合わせます。次に「分」スイッチを押し「分」を合わせます。
 - スイッチを押し続けると、連続的に数字が変わります。
 - AM、PMの表示を確認します。
- AM、PMが逆のときは変更するまで「時」スイッチを押し続けます。右は午前10時15分の例です。



3. セットします。

- 「時刻設定スイッチ」を再度押します。
- 表示画面の時刻の点滅が10秒後に自動的に止まりセット完了です。

ご注意

- 停電後は0:00の表示に戻りますので再度時計を合わせる必要があります。
- フロマスターリモコン、サブリモコン（別売）で現在時刻及び予約時刻セッとはできません。

■ お風呂沸かしの予約のしかた

お風呂沸かしの予約とは

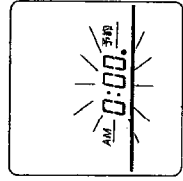
予約時刻をセットしておけばその時間になると自動的に自動運転に入り、お風呂が沸かせます。

1. リモコン表示画面の現在時刻が合っているか確認します。

- 現在時刻が合っていない場合は24ページを見て合わせます。

2. 予約設定スイッチを押します。

- メーンリモコンのフタを開け、予約設定スイッチを押します。
- リモコン表示画面は図のようになります。

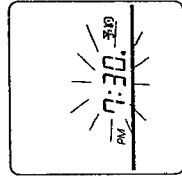


3. 予約時刻をセットします。

- 沸かし始めたい時刻を表示画面を見ながら「時」「分」スイッチを押し、表示させます。
- AM、PMを確認します。
- 「予約設定スイッチ」を押してから10秒以内に「時」スイッチを押し始めないと現在時刻に戻ります。



例、沸かし始めたい時刻が午後7時30分の場合表示画面を見ながら「時」スイッチをPM7になるまで押し続けます。



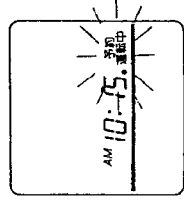
4. セットします。

- 予約設定スイッチを再度押します。
- 点滅が止まりその後現在時刻に表示が変わります。これで予約時刻がセットされました。
- 予約時刻を確認したい場合はメーンリモコンの予約設定スイッチを押すと、10秒間、表示画面に予約した時刻が表示されます。
- 予約時刻を変更したい時も10秒以内に再度1～3の操作をします。



5. 予約運転の開始。

- フロマスターリモコンまたはメーンリモコンのふたを開け、予約運転スイッチを押します。
- 表示画面に、3秒間予約時刻と「予約」の文字が表示され、その後現在時刻に変わり、その横に「予約運転中」と表示されます。



ご注意

- フロマスターリモコンでは予約設定ができません。
- 予約運転でお風呂を沸かしたときは、保温・足し湯ははたらきません。
- セットした予約時刻は、沸き上がりの時刻ではありません。

冬期の凍結による破損防止について

機器が凍結すると、給湯できないばかりでなく水洩れ故障の原因になります。

この機器の凍結防止方法は次の3つのケースでやり方が異なります。

- ①通常の場合。
- ②異常寒波（マイナス15℃以下）のとき。
- ③長期不在のとき。

操作の手順

この機器は気温がさがってくると自動的に機器内を保温する自動凍結予防装置が組み込まれています。通常は機器の電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば、機器内の凍結は予防できます。

- 運転スイッチを切っても凍結予防装置は働きます。



電源プラグは絶対に抜かないでください

給湯側

① 通常の場合

ご注意

- 凍結予防装置が働くのは外気温マイナス15℃程度までです。特に寒い時や急な寒波などで寒くなるときは、はやめに「異常寒波のとき」「長期不在のとき」による破損防止の処置を行なってください。
- 機器内の凍結は予防できても配管は凍結することがありますので、配管は必ず保温材で被覆してください。

操作の手順

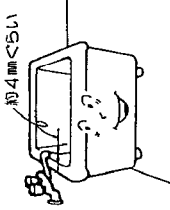
- この場合は機器本体だけでなく、給水給湯配管、バルブ類の凍結防止もできます。

①リモコンの運転スイッチを「切」にした後再度「入」にし、さらに約10秒後に「切」にします。

②ガスの元栓をしめます。

③お風呂場の給湯せんをあけ1分間に400cc(牛乳ビン2本ぐらい)を浴そうに流し込みます。

流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認します。



(浴そうに流し込んだ水は翌日の使用水としてご利用ください。)

給湯側

② 異常寒波のとき

操作の手順

長期不在等で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や電源プラグを抜く場合には、この水抜き凍結予防方法により、次の手順でふる間、給湯側の水抜きが完了後に電源を「切」にします。

ふる側から先に水抜きを行います。

- ① 浴槽の水を排水します。
- ② ポンプ水抜きせん図を左にまわしてあけます。

※ふる側の水抜きを行なった後は浴槽に水を流し込まないでください。

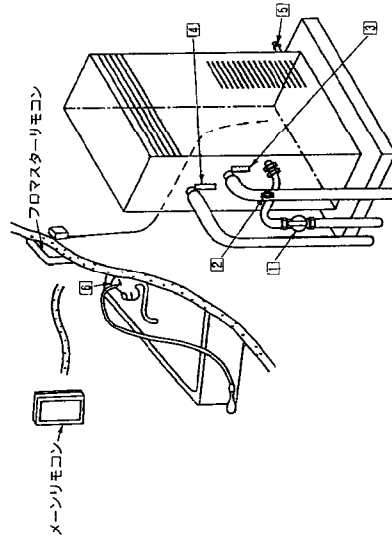
ふる側

③ 長期不在のとき

〔給湯側〕

- ① 運転スイッチを「切」にして、その後、電源プラグを抜きます。
 - ② ガスの元せん図をしめます。
 - ③ 給水元せん図をしめます。
 - ④ すべての給湯せん図を空回りにします。
 - ⑤ 水抜きせん図を左にまわしてあけます。
 - ⑥ エアチャージせん図を左にまわしてあけます。
- 以上の操作で器具内の水は排水されますので、水抜きせん図より水が出てくることを確認し、次にお使いになるまでそのままにおいてください。

給湯側



操作の手順

● 再度使用されるときは、次の方法で行なってください。

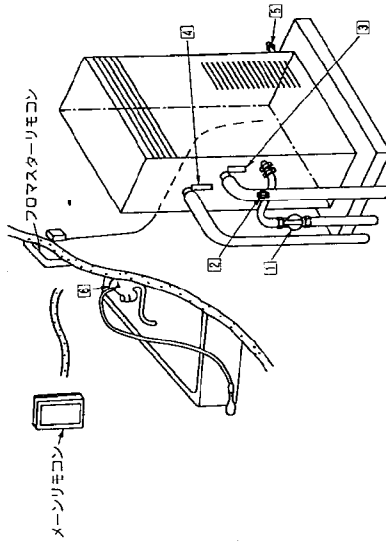
※給湯側より先に行なってください。

〔給湯側〕

- ① 水抜きせん図、エアチャージせん図、ポンプ水抜きせん図、およびすべての給湯せん図をあけてすべての給湯せん図から水が出るのを確認します。
- ② 給水元せん図をあけてすべての給湯せん図から水が出るのを確認します。

● 以上の操作を行なってからご使用ください。

再使用する場合

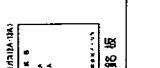





凍結したときは





- 凍結した場合、ガス栓・給水元栓を開めてください。凍結したまま運転操作をしますと器具に異常が生じる場合があります。凍結がとけたことの確認は運転スイッチを「切」の状態でも給湯せん図を開き水が出てくることをたしかめます。
- 凍結がとけたあと、水漏れがないことを確認のうえご使用ください。
- 器具や配管が破損しますと、高額の修理費用がかかる場合があります。(有料)

使用上のご注意

使用上注意していただきたいこと

<p>使用ガス・使用電圧についてのご注意</p>	<p>この機器は都市ガス用です。都市ガスはA・B以外のガスでは使用しないでください。</p> <p>● 銘板に表示してある電圧（電圧・周波数）以外の電圧では使用しないでください。</p>	 <p>銘板</p>
<p>用途についてのご注意</p>	<p>● 台所・シャワー・洗面などの給湯、風呂湯かし以外の用途には使用しないでください。</p>	
<p>可燃物の補助燃焼についてのご注意</p>	<p>● この機器の純正部品以外は使用しないでください。（不完全燃焼の原因となります）</p> <p>● 混合水せんをご使用になる場合は出口が稼がれていないもの（瞬間湯沸かし水せん）を選定してください。水圧の低い地域では湯沸かしせんを使用しないでください。</p>	
<p>火災予防</p>	<p>● 機器の上や、周囲には燃えやすいものを置かないでください。特に排気管は熱くおろすのでお気をください。</p>	
<p>やけどのご注意</p>	<p>● 使用中および消火直後は、排気管やその周囲が高熱になっていますので、絶対に手をふれないでください。</p>	
<p>ガス事故防止</p>	<p>● ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元せんをしめ、お買い上げになつた販売店又は最寄りの東京ガス事業所にご連絡ください。換気が到着するまでは、絶対に火をつげたり、電源プラグの抜き差しや、近くの電気器具の「入・切」をしないでください。</p>	
<p>入浴時のご注意</p>	<p>● 浴槽への循環金額をタカがれでふさぎますと循環不良となり、お風呂が汚れます。</p>	

使用上注意していただきたいこと

<p>操作についてのご注意</p>	<p>● 噴霧、酸、アルカリをきんだ洗剤や洗剤は、風呂蓋が腐食する原因となりますので使用しないでください。</p>	
<p>異常時の処理</p>	<p>● 万一、異常燃焼（メーバーナーやガスが燃や使用中に「コー」と音のするような燃焼）をおこしたときや、緊急の場合は、次の処置をし、お買い上げになつた販売店又は最寄りの東京ガス事業所にご連絡ください。</p> <p>1 燃焼を止める。 2 混合水せんを「切」にする。 3 栓を元せん、ガス元せんをしめる。 4 砂詰めのある販売店または最寄りの東京ガスへ連絡する。</p>	
<p>水の使用についてのご注意</p>	<p>● 機器内に長時間にわたつた水は排水または、排水に用いないでください。排水水としてご使用ください。</p>	
<p>音が鳴った後、器具が作動しない時</p>	<p>● 湯温の調整、機器内の清掃安全装置が作動し（電圧降下も）液漏れなくならぬまで、電源プラグをいったんコンセントから抜き、再度差し込んでください。リモコンのセットのしなおしが必要です。</p>	
<p>音が頻発しているときのご注意</p>	<p>● 寒い窓により、一時的な凍結で電子部品を凍結することがあります。電源プラグをコンセントから抜いておきますと凍結を防止できます。</p>	
<p>転倒されるとき</p>	<p>● 転倒する場合は、販売元のガス事業者または販売店にご相談ください。</p> <p>● 機器（本体）に表示してあるガス、電圧（電圧・周波数）以外の種類の異なる可燃ガスが供給される場合には、改造・調整が必要です。この改造・調整に専門家は、保証期間中でも有ります。</p>	
<p>停電時の処置</p>	<p>● 停電時は湯温を閉めてください。停電中は湯が出ません。</p> <p>● 再燃焼したときは、リモコンの赤いボタンを押して電源を元せん（電源・給湯セット電源、即時切・予約時刻がお買い上げになった初期の状態に戻ります。セットをおこなってください）。</p> <p>● 電源プラグをコンセントから抜いたときも同様です。</p>	
<p>出湯についてのご注意</p>	<p>● 湯温を絞りますと、熱い湯になつたり消火しお湯になりにません。</p> <p>● シャワーを使用されるとは、手で湯温を調整してからお使いください。</p> <p>● 台所・浴室などで同時に使用しますと、湯温が少なくなつたり、湯温が悪化することがあります。</p> <p>● 出湯が止まらなくなつたりしたときは、熱かつたり、冷めかつたりし湯温が安定するまで若干の間隔がかります。</p>	

日常点検・手入れのしかた

- いつでも安全・快適にご使用いただくため、日ごろの点検・手入れを行なってください。

点検・お手入れの際のご注意

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れを必ず行なってください。
- お手入れは機器が冷えてから行ってください。
- フロントカバーを外したり、分解したりしないでください。

点 検

- 機器および配管より水滴れはありませんか。
- 運転中に機器から異常音が聞えますか。
- 機器の外観に異常は見られませんか。
- 機器のまわりにおよび排気口のそばに燃えやすいものはありませんか。
- オーバーフロー口より水がたれていませんか。

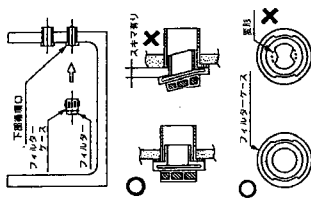
お 手 入 れ

- 機器やリモコンの表面の汚れがひどくお掃除される場合は、水にぬらしたやわらかい布をかたく絞って、軽くふき取ってください。洗剤およびシンナー・ベンジンなどではふかないでください。
- (注) リモコンの内部には電気部品が入っていますので、なるべく水をかけないようにしてください。

- 給湯せんの先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター(金網)を掃除してください。
- (注) 水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

②フィルターの掃除

浴そう内のフィルターを外し、内部のフィルターを月に1回程度掃除してください。



(取付方法)

1. 浴そう内、下部循環口に差し込んで取り付けてください。

※外れないように注意してください。

(取付注意事項)

1. フィルターケースと下部循環口(接線金具)とがスキマのないように奥まで十分押し込んで、密着させて取り付けてください。
2. フィルターケースが下部循環口(接線金具)内で変形しないように取り付けてください。

故障かな?と思ったら

次のことを調べてください。

症 状

- 運転ランプが点灯しない

お調べいただきたいこと

- 電源プラグがコンセントにしっかりはいっていますか
- 停電していませんか

(給湯側)

- お湯が出ない
- 燃焼表示、**M**がでない
- 使用中に消火した

- ガス元せんが十分開いていますか
- 給水元せんが十分開いていますか
- 断水していませんか
- 給湯元せんが十分開いていますか
- 湯温調節は適切ですか

(風呂側)

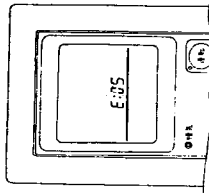
- 燃焼表示、**M**がでない
- 使用中に消火した
- 浴槽のお湯が沸かない
- 浴槽のお湯が沸く
- 浴槽のお湯が乾く

- ガス元せんが十分開いていますか
- 浴槽に水が十分入っていますか
- ふろ湯温調節は適切ですか

故障モードの表示をお調べください

この機器がもし異常や故障になったときは表示画面に下表の原因別表示をします。
サービスをご依頼されるときは表示記号をあわせてご連絡ください。なお60分以上連続給湯又は90分以上連続追い焚きすると、燃焼が停止し、故障モード「E05」「EGH」を表示します。この時は、いったん運転スイッチを切り、数秒待った後、再び運転スイッチを「入」にします。

表示例



表示	内 容	対 処	如
E01	給湯入水温度センサー系統の不具合	※	
E02	給湯出湯温度センサー系統の不具合	※	
E03	給湯倒炎(燃焼)検出系統の不具合	※	
E05	給湯90分以上連続燃焼	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示がなければ正常です。	
E06	給湯倒炎(燃焼)検出系統の不具合		
E07	ファン回転検出系統の不具合(給湯)	※	
E09	ふろ循環速度センサー系統の不具合	※	
E0C	ふろお湯張り系統の不具合	浴槽の水位を確認する。	
E0E	ふろ倒炎(燃焼)検出系統の不具合	※	
E0H	ふろ90分以上連続燃焼	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示がなければ正常です。	
E0L	ふろ倒炎(燃焼)検出系統の不具合		
E0P	ファン回転検出系統の不具合(ふろ)	※	
E22	ふろお湯張り系統の不具合	※	
E24	浴せうの排水栓忘れ	浴せうの排水栓を確認します。	
UEH			
UEL	リモコン系統の不具合	※	
UEP			

(ご注意)

※印又は不明な場合は販売店又は、最寄りの東京ガス事業所にご連絡ください。

次のような場合は故障ではありません

こんな場合	理 由
給湯せんと絞りをきざで水になった	この機器は流水量が3.5ℓ/min以下になったときは消火します。
低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量用いると、水温が高くなります。給湯せんと絞りをきざで水になったときは消火します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ピール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違い、全く無害なものです。
排気口から白煙が出る	外気温が低い時には排気ガスの水蒸気が白煙となりますが故障ではありません。
蛇口を開いてもすぐお湯が出てこない	器具から蛇口までは、距離がありますので、お湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。
出湯停止後もファンの回転音がする	使用時の点火をより早くするため約3分間は回転しています。
かくはんのためポンプが回る	「あったか」始めるため運転終了後、かくはんのためポンプが約30秒間回ります。
スイッチを「切」にしてもポンプが回わる	運転スイッチ及び自動運転スイッチを「切」にしたとき、水抜きを行います。
表示画面(液晶)が乱れている	リモコンをかいた手で拭いた場合、液晶表示が乱れることがあります。この場合液晶(30分以上)しておくと正常にもどります。
表示画面が0:00 になっている	停電後、再通電すると表示画面の時計表示が0:00になります。なお水位・温度表示もかわり(初期状態)しますので、再度設定をしてください。

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店または、最寄りの東京ガスへご連絡ください。

アフターサービス

1 サービスを依頼されるときは

- まず34ページの「故障かな?と疑ったとき」を確認のうえ、なお異常のあるときは、お買い上げの販売店または最寄りの東京ガスにご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけるときは、次のことをお知らせください。
 - 1.氏名・住所・電話番号・道順(付近の目印等)
 - 2.品名…NR-824RF-EA(機器コード7417555)
 - 3.故障または異常内容(できるだけ詳しく)
 - 4.故障希望日
 - 5.故障モード表示記号

2 転居される場合

ガスの種類および電源周波数が異なる地域へ転居される場合は製品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガス種および電源周波数を確認のうえ最寄りの東京ガスまたは転居先のガス会社に相談し調整しうえてご使用ください。この場合、費用は保証期間中でも有料となります。

また転居先で設置工事をなさる場合は必ず専門の工事に依頼してください。

3 保証について

- 取扱説明書の39ページが保証書になっています。必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理致します。

4 補修用性能部品の最低保期間について

補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)最低保期間は製造打切り後10年です。

5 アフターサービス等についてわからないとき

販売店または最寄りの東京ガス(裏表紙一覽表ご参照)にお問い合わせください。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は次の操作をしてください。
 - 1)ガスの元栓を閉じる。
 - 2)給水元栓を閉じる。
 - 3)電源プラグを抜く。
 - 4)器具の水抜きを行なう。(水抜き方法は29ページを参照してください。)

仕様

品名	NR-824RF-EA	
種類	先止め式	
設置・給排気方式	屋外用・強制排気式	
点火方式	放電点火式	
使用水量	1kg/ont以上	
作動水圧	0.15kg/ont	
外形寸法	高さ850mm×幅500mm×奥行180mm	
	高さ96mm×幅196mm×奥行22mm	
重量	33kg	
	ふろりモコン 0.4kg	
接続	20A(P.T.34)	
	20A(P.T.34)	
	20A(P.T.34)	
燃焼パイプ	45mmφ×ピッチ10mm	
電気関係	AC100V 50Hz	
	50Hz/130W	
	(凍結予防ヒーター-177W)	
湯制御方式	電子式ガス比例制御方式	
安全装置	立消火安全装置・空たき安全装置(ふろ)・防火安全装置(給湯)・過熱防止装置 過熱防止安全装置・脱臭高保護装置・凍結予防ヒーター・凍電安全装置	
付属品	接続コム・積付バンド・本体固定金具・凍電防止金具・リモコンコード (ふろ用)・フィルターセット・フロマスタ・リモコン(一式)・メー ンリモコン(一式)・アース線・取扱い説明書	
別売品	オプションリモコン・リモコンケーブル	

項目	品名		単位
	NR-824RF-EA		
ガス消費量	最大	12A	kcal/h
	平均	4190	
	最小	4700	
同時使用	最大	11200	ℓ/min
	平均	51300	
	最小	22.3	
出湯量 (動水圧: 1kg/ont時)	最大	2.4	ℓ/min
	平均	13.9	
	最小	—	

出湯量の()内の数値は相当出湯能力です。

取扱説明書	NR-824RF-EA <GRQ-241A>	7	4	1	7	5	5	5	1	3	2	1	1
-------	------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

型式名	GRQ-241A	風呂給湯器		保証書
品名	NR-824RF-EA			
上記器具をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は東京ガス供給区域内において都市ガス用としてご使用になる場合本書見稿内容で無料修理をお約束するものです。				
記				
(1) 保証期間は、お買い上げの日から2年間とし器具本体(リモコン含む)を対象とします。				
(2) 万一故障の場合はお買い上げの店、もしくはもよりの東京ガスへお申し出ください。原則として出張修理をいたします。				
(3) サービス員が参上した時に本証書をお示しください。				
(4) 保証期間中でありましても次の場合には有料修理といたします。				
(イ) 取扱説明書によらないでご愛用になり、故障した場合。				
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。				
(ハ) 火災、天災、地震等による故障、その他不可抗力による故障。				
(ニ) お買い上げの店、あるいは東京ガスに、ご連絡なしに改造された場合の故障。				
(ホ) 器具に表示してある以外のガスでご使用のため改造された場合、ただし、当社都合の場合はのぞきます。				
(ヘ) 本証書を紛失された場合。				
(5) 無料修理やアフターサービス等について、ご不明の場合はお買い上げの店または、もよりの東京ガス支社・営業所にお問い合わせください。				
お買い上げ日				
販売店名				張 者 印
住 所				
電話番号				
保証履行者	東京ガス株式会社	港区海岸1丁目5番20号		
		電話 03 (433) 2111		
保証責任者	株式会社ノーリツ	神戸市中央区明石町32番地		
		電話 078 (391) 3361		

- お客様へ**
- この保証書をお受取りになる時に販売年月日、販売店名、張者印が記入してあることを確認してください。
 - 本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
 - 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては「アフターサービス」の項をご覧ください。
 - この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※この器具の修理記録は機器本体の裏面カバー裏に記録します。